

NO	ページ番号	質問事項	回答
1	仕様書 p. 2 1(4)	今回のダッシュボードの使用される方についてご教示いただけますでしょうか。 ダッシュボードは教員が使うことを前提との記載があり、市内の複数校（2つの中学校区、小・中学校計4校程度）を対象と想定しておりますが、仕様ユーザー数についてご教示いただけますでしょうか。	想定ユーザー数は100名程度です。
2	仕様書 p. 5 3(4)	試行対象として想定される利用者について、教員、管理職、養護教諭、指導主事、教育委員会事務局等のロール別人数と、閲覧・管理等の権限区分想定をご教示いただけますでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・1校当たり：管理職2～3名程度、養護教員1名程度、教員20名程度 ・指導主事及び教育委員会：20名程度 ・権限：教育委員会は全校閲覧・管理を可能、学校は自校のみ閲覧・管理を可能とします。現時点ではロール別の詳細な権限設定は不要ですが、受託候補者決定後、実証の過程で受託者と協議のうえ、必要に応じてロール別権限設定を行う可能性があります。
3	仕様書 p. 4 3(3)	試行対象校が概ね想定されている場合、校種、学年構成、学級数、児童生徒数、教職員数、および2中学校区の構成をご教示いただけますでしょうか。	<p>小学校2校（1～6年）・中学校2校（1～3年）の計4校程度で実施を検討しています。</p> <p>参考として、京都市立学校における児童生徒数の中央値は概ね小330名（15学級）、中370名（10学級）程度、教員は1校当たり15～30名程度です。</p>
4	仕様書 p. 5 3(4)	教職員が通常利用する端末種別（PC、タブレット、スマートフォン）、OS、標準ブラウザ、校内外利用の有無、ネットワーク・プロキシ、アプリケーションインストール制限等の制約をご教示いただけますでしょうか。	<p>教職員が利用する端末は、主としてPCを想定しています。OSはWindows11以上、ブラウザはMicrosoft Edge 限定です。</p> <p>なお、校内外利用の可否、ネットワーク／プロキシ、アプリケーションのインストール制限等の詳細条件は運用・セキュリティ設計に関わるため、受託候補者決定後、必要な範囲で共有し、受託者と協議のうえ確定しますが厳しい制約が前提であることを考慮してください。</p>
5	仕様書 p. 4 3(3)	各種連携するシステムデータにおいて、すでにデータが集約されて、利活用できる状況でしょうか。 もし各種サービスから直接あるいは間接で取得が必要になる場合、試行対象として優先度の高い連携対象システム・サービス（校務支援、学習ツール、健康観察、アンケート、成績等）の一覧、各システムのベンダー名、想定接続方式（API、CSV等）、提供可能なデータ項目をご教示いただけますでしょうか。	<p>現時点で各種システムデータが集約され、利活用できる状況にはありません。</p> <p>優先度が高い連携対象は、 ・校務支援システム（G4th） ・デジタルドリル（ミライシード） ・保護者連絡ツール（すぐーる） で、児童生徒の出欠記録や保健室利用状況、児童生徒端末でのデジタルドリル使用状況等が提供予定のデータ項目となります。</p> <p>想定接続方式は、プロポーザル参加事業者から方策案の提案を受け、契約後に詳細を決定します。</p> <p>なお、上記の名称は現行環境の例示であり、特定の製品・事業者を指定又は推奨する趣旨ではありません。</p>

6	仕様書 p. 4 3(3)	連携対象データについて、データ品質管理を行なわれていますでしょうか。もし欠損・コード不統一・手入力による入力内容の揺れ（非構造データ）など、既知のデータ品質課題があればご共有いただけますでしょうか。	連携対象データのデータ品質については、システムごとに管理方法や表記ルールが異なる部分があるため、全体として一律の統一が十分に行き届いているとは限りません。 既知の留意点として、児童生徒の名寄せにおいて各ソフト間を横断する共通番号の整備状況にばらつきがあること、氏名の外字の有無等により入力内容に揺れが生じ得ること、および一部クラス名にソフト間で揺れがあること等があります。
7	仕様書 p. 4 3(3)	前年同時期比較および学校行事の前後比較に用いるため、提供可能な過去データの期間と粒度（日次、週次、月次等）をご教示ください。また、学校行事データはどのシステムまたはどの形式（テキスト、Outlook 予定表、Excel 等）で管理されているかご教示いただけますでしょうか。	学校行事データは、学校が Excel で管理しているものうち、連携可能なデータを比較対象用として提供します。最も粗い粒度は年間行事予定表ですが、実証の進め方や学校の状況に応じて、提供する粒度（例：月次・週次等）を調整する可能性があります。
8	仕様書 p. 7～8 5(1)	既存システムベンダーとの技術調整について、京都市様主導か受託者主導か、またベンダー連絡窓口のご提供可否をご教示いただけますでしょうか。	技術調整は受託者主導でお願いします。ベンダー連絡窓口の提供は契約後に可能です。
9	仕様書 p. 8 6(1)	効果測定において特に重視する KPI と評価方法（早期把握件数、気づきの質、校務効率化、指導主事による学校助言への活用状況等）の想定をご教示いただけますでしょうか。	特に重視する KPI の順位付けは行っていません。
10	仕様書 p. 5 3(3) p. 5 3(4) p. 5～6 3(4) p. 6 3(4)	主に生成 AI による分析において以下質問です。 外部 SaaS/クラウドおよび生成 AI 利用に関して、国内リージョン要件、データ保存方針、外部学習利用禁止、ログ保存期間、マスキング要否等の必須条件があればご教示ください。 また、特定のモデルや種別で利用を禁止しているものはありますか。	仕様書記載のとおり、生成 AI の利用にあたっては、入出力（プロンプト、参照データ、出力結果）を監査可能な形で記録し、必要に応じてマスキング等の保護措置を講じることを求めます。 また、外部学習利用禁止、目的外利用の禁止、根拠データ提示等を含む安全管理措置を求めます。外部 SaaS/クラウドを利用する場合についても第三者認証の取得が必要です。 国内リージョン要件やログ保存期間等の具体条件は、上記要求を満たす範囲で、受託者提案を踏まえ協議のうえ決定します。 なお、特定のベンダー/モデルを一律に指定・禁止するものではありません。ただし国が特定のベンダー/モデルを推奨した場合や禁止した場合はその対応検討は必要となります。
11	仕様書 p. 2 1(4) p. 4 3(2)	試行開始時期のターゲットについて 本業務の契約期間は令和 9 年 3 月末までですが、実際の学校現場での「試行運用（実証）」を開始する具体的な時期（例：令和 8 年〇学期から、〇月頃から等）のターゲットや目安はございますでしょうか。	試行運用（実証）の開始時期は、早期の開始を目指しています。現時点の目安として、第 1 学期中の着手を想定しており、学校現場の運用状況を踏まえながら、検証・改善を進めます。

12	仕様書 p.2 1(2)	児童生徒の「心身の健康状態」について、具体的に「心の天気」などの既存アプリのパルスデータが含まれるのか、それとも非定期で実施するようなアンケート等のテキストデータや非構造化データのみとなりますでしょうか。	「心身の健康状態」に関するデータとして、「心の天気」等の既存アプリで取得されるパルスデータを含めることを想定しています。具体的な対象データや取り扱い、実証の進め方等を踏まえ、協議のうえ整理します。
13	仕様書 p.4 3(3)(ウ)	AIによるプッシュ型通知は、ダッシュボード画面上での表示に留めるべきか、教職員の業務用メールやチャット（Teams等）への外部通知まで含めるべきでしょうか。	プッシュ型通知はダッシュボード上のみで問題ありません。
14	提案要領 4	「契約金額の上限（8,000,000円）」は生成AIの利用料金を含みますでしょうか。	含みます。
15	提案要領 4	貴市で契約している生成AIを利用するか、試行業務用に新規に契約する想定のおいずれでしょうか。	試行業務用に新規に契約する想定です。
16	提案要領 4	貴市で契約している生成AIの種類とプランの情報をご教示ください。	本業務では試行業務用に新規契約する想定（No.15参照）のため、本Q&Aでは本市契約の生成AIの種類・プランの詳細は回答しません。 受託者において、仕様書の要求（監査可能なログ、必要に応じたマスキング等の保護措置、安全管理措置等）を満たす形で提案してください。
17	提案書作成 要領	提案書は表紙込みで30頁以内でしょうか。	表紙込みで30頁以内です。
18	仕様書 P2 1.(4)	「ダッシュボードは教員が使うことを前提」とありますが、3.(3)ウ(ウ)効果測定においては、指導主事等の学校助言で利用することが想定されている記述があります。本業務における試行における想定利用者には、学校所属の教員に加えて、教育委員会事務局の職員が含まれると理解してよろしいですか。	含みます。
19	仕様書 P4 3.(3)イ (ア)	「連携対象データ」について、3.(3)エ(エ)「発注者が指定する外部システム／クラウドサービス」との表記がありますが、仕様書上には指定の対象システムの記載がありません。発注者が想定するシステム名・サービス名などが既にあるのであれば具体的にご教示いただけますか。	No5で回答します。
20	仕様書 P4 3.(3)イ (ア)	連携対象データについては、ダッシュボードへの可視化やプッシュ機能での利用（試行）を想定するもののみが対象ですか。試	連携対象データは、現時点では、ダッシュボードへの可視化やプッシュ機能での利用（試行）を想定するものを対象とします。

		行対象から除外されるが、設計整理（データ定義・更新方式・エラー対応設計等）のみを実施する対象データの存在は想定されますか。	一方で、試行対象から除外するデータについても、将来の追加連携等を見据え、データ定義・更新方式・エラー対応設計等の整理（設計整理）を行う提案があれば妨げません（必須ではありません）。実施の要否・範囲は、受託者提案を踏まえ契約後に協議のうえ整理します。
21	仕様書 P4 3. (3)イ (ア)	連携対象データの更新頻度（更新周期・遅延許容・更新方式）を整理するとありますが、試行期間中に想定される更新頻度は、データ種別ごとにリアルタイム連携を求めるのか、日次・週次等のバッチ連携でも許容されるのかご教示ください。	更新頻度は、リアルタイム連携が望ましいと考えています。データ種別によっては日次更新も可能です。週次更新は利便性の観点から慎重に考えていますが、契約後の協議により、週次でも支障がないと判断されるものについては週次連携も可能とします。
22	仕様書 P4 3. (3)イ (ウ)	「生成 AI 『など』」とございますが、他の箇所では「など」がある場合とない場合がございます。プッシュ機能があれば生成 AI にこだわらないという理解でよろしいでしょうか。	本件のプッシュ機能は、仕様書のとおり生成 AI の活用を想定しています。 「など」は、生成 AI の代替を認める趣旨ではなく、目的達成に資する補完的な先端技術（例：異常検知、ルール判定等）の併用提案を妨げない意図です。
23	仕様書 P4 3. (3)イ (ウ)	「プッシュ機能」については、1. (2)における「プッシュ通知」や、後述される「アラート機能」と同義でしょうか。	同義です。
24	仕様書 P4 3. (3)イ (ウ)	通知の手段について、発注者が想定する通知手段をご教示ください。教育ダッシュボード外部のシステムに対する通知表示（メール、Teams 等）を想定していますか。	想定していません。
25	仕様書 P4 3. (3)イ (カ)	前年同時期等との比較が想定されていますが、3. (3)イ（ア）で定義される連携対象データについては、過去に遡った前年度分のデータを含む必要がありますか。	連携対象データには、前年同時期等との比較に用いるため、前年度分のデータを含めることを想定しています。具体的な対象データや取扱いは、連携対象データの範囲等を踏まえ、契約後に協議のうえ整理します。
26	仕様書 P5 3. (3)エ (イ)	生成 AI は「文章化・要約・背景解釈・推奨アクション提示」を行うとありますが、出力対象として想定される単位は、児童生徒個人、学級、学校、中学校区のいずれでしょうか。複数想定される場合は、優先順位もあわせてご教示ください。	出力対象は優先順位順に、児童生徒個人、学級、学校です。中学校区は出力対象として想定していません。
27	仕様書 P5 3. (3)エ (ウ)	「生成 AI の利用にあたり～SaaS 型と IaaS 型を、要件に応じて使い分け可能な構成を提案・試行」とございますが、本業務内でこれらの 2 方式を、試行として実際に稼働させることは必須ですか。	仕様書のとおり、運用・セキュリティ・費用・将来拡張性の観点から、SaaS 型と IaaS 型を要件に応じて使い分け可能な構成を提案し、実際に試行（検証）できることを求めます。
28	仕様書 P5 3. (3)エ (ウ)	SaaS 型と IaaS 型の使い分けに関する要件とはどのようなものが想定されていますか。データの機微性やコストなど、現時点で想定される要件が存在していればご教示ください。あるいはそれらの使い分けに関	使い分けに関する要件は現時点で固定しておらず、本業務内で検討・整理します。その際、仕様書のとおり、運用・セキュリティ・費用・将来の拡張性等の観点から、SaaS 型と IaaS 型の使い分けが可能となる構成の提案・試行を行うことを求めます。

		する要件自体の検討を本業務内で行うのでしょうか。	
29	仕様書 P5 3. (3) エ (エ)	他サービスとのデータ連携に関し、「発注者が指定する外部システム／クラウドサービス」とございますが、具体的に何を指定されるでしょうか。また、最後の「・」では、「追加連携の際の影響範囲を提示」とございます。想定で結構ですので、現在何を連携させて、将来何を連携させる想定かご教示いただいてよろしいでしょうか。	現時点の連携対象は出欠、学習履歴、健康等の教育データを想定しています。 外部システムの例として、校務支援（G4th）、デジタルドリル（ミライシード）、保護者連絡（すぐーる）等を想定します（上記の名称は現行環境の例示であり、特定の製品・事業者を指定又は推奨する趣旨ではありません）。 将来の追加連携は現時点で特定していませんが、追加連携時の影響範囲（費用・期間・運用負荷）を見積可能な形で提示することを求めています。
30	仕様書 P6 3. (5)	既存情報基盤の設定変更は貴市で実施されると理解しております。既存環境の情報（情報基盤の構成やアカウント情報等）については、事前にご提供いただけるという理解でよろしいでしょうか。	既存情報基盤の設定変更については、仕様書のとおり、原則として受託者の責任において実施するものとしています。 ただし、受託者が京都市の既存情報基盤に直接アクセスする権限や端末を有しないこと等により、設定変更作業を自ら実施できず、京都市に当該作業の実施を求める場合には、受託者において、設定変更に係る設計内容、設定ポリシー、作業手順書、影響範囲、ロールバック方法等を十分に整理した資料を作成し、事前に京都市へ提示のうえ、合意を得ることを必須とします。 当該合意が得られた場合に限り、設定変更作業自体は京都市が実施しますが、当該設定変更の内容や妥当性、設定後に受託者側システムが正常に動作しない場合の責任は、受託者が負うものとなります。 なお、既存情報基盤に関する情報については、受託候補者決定後、必要な範囲で提供します。また、京都市の既存情報基盤に影響を与える設定変更を極力回避できる構成や代替手法がある場合には、リスク低減の観点から、そのような提案を求めます。
31	仕様書 P8 6	「業務実施報告書計画書」は、「業務計画書」でよろしいでしょうか。それとも事前に「業務実施報告書」の内容を「計画書」として記載するという意図でしょうか。	「業務実施報告書計画書」を「業務計画書」に訂正します。